

第101回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

売掛金	現金	前払金	旅費交通費
仮受金	備品	従業員貸付金	買掛金
未収入金	消耗品	支払手数料	繰越商品
立替金	受取利息	消耗品費	前受金
貸倒引当金	仕入	借入金	当座預金
仮払金	給料	租税公課	雑費
貸倒損失	支払手形	売上	未払金
所得税預り金			

- 出張中の従業員から当座預金へ振り込まれ、仮受金として処理してあった ¥ 100,000 は、得意先堤商店から受け取った商品売渡しにかかわる手付金であることが判明した。
- 得意先の奥菜商会在倒産したため、同商会に対する前年度発生の売掛金 ¥ 400,000 が回収不能となったので、貸倒れとして処理した。なお、貸倒引当金の残高が ¥ 150,000 あった。
- 今月分の従業員給料総額 ¥ 2,000,000 から、所得税の源泉徴収分 ¥ 200,000 と従業員への貸付金の返済分 ¥ 300,000 分を差し引き、手取額を現金で支払った。
- 備品 ¥ 500,000 を購入した。これに伴い、据付費 ¥ 10,000 がかった。これら代金のうち、¥ 200,000 は小切手を振り出して支払い、残額は翌月末に支払うことにした。
- 決算に際し、購入時に消耗品費として処理してあった事務用品 ¥ 50,000 のうち、未使用残高が ¥ 10,000 あった。